

創造・誇り・愛！　輝く七中　煌めけ生徒！！

立川市立立川第七中学校

校長　水越　伸朗

学校だより

第2号

令和7年5月15日



七中 HP URL



とちのき

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3  
TEL (042) 531-0511 FAX (042) 531-6103

## 一生懸命がカッコいい

校長　水越　伸朗

5月も半ばを迎え、来週からは運動会の練習が始まります。運動会練習が始まると、いつも以上に体力を使います。気温も高くなってくる時期でもありますので、水分を多めに持参する、食事をしっかり摂る、睡眠時間を十分確保する等、体調管理にもご協力をお願いいたします。

また、現在、仮設体育館の解体工事のため使用できる校庭範囲が狭くなっています。そのため、今年度の運動会は競技種目を厳選しての開催となります。ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

さて、毎年運動会練習が始まると、ある言葉を思い出します。それは「一生懸命がカッコいい」という言葉です。少し前の時代、中学生を含む若者の間で、一生懸命に取り組むことを馬鹿にしたり冷やかしたりする、とても嫌な風潮がありました。日頃の係活動にまじめに取り組んでいる人に対して「何カッコつけてるの」とからかう。汗まみれになりながら部活動で練習をしている人に対して「何そんなにまじめにやってるの、疲れるだけじゃない」と冷やかす。合唱コンクールに向けて大きな声で歌っている人に対して「何いい子ぶってるの」などと言う。口にこそ出さなくても、こういった態度をとることもありました。周りはとても不愉快な気分になり、不快に感じます。

運動会のようなスポーツに限らず、一生懸命に取り組んでいる姿は素晴らしいものがあります。勉強でもそうです。真剣に授業を受け、問題を解いている姿からは、いわゆる「オーラ」を感じます。音楽でもそうです。心を込めて歌っている姿からは、熱い想いを感じます。仕事でもそうです。物作りの職人さんが真剣に作業に取り組んでいる姿からは近寄りがたい雰囲気と崇高さを感じます。このように真剣な様子、一生懸命な姿は周りの人に感動を与えるのです。そして、「カッコいい」と感じるのです。まさに「一生懸命がカッコいい」のです。何事にも真剣に、一生懸命に取り組む七中生、そして大人になることを期待しています。